

震災写真パネルを見た感想	神戸新聞社 三好さんの授業を受けた感想
これからはこのような大きな被害にならないように自分でもできることを考えてどんどん実行していこうと思いました。	自然災害では沢山の人が亡くなってしまったのでとても怖いと思いました。この授業を生かしてしっかり備えなどをしてこれからの生活に活かそうと思いました。
写真を見るとこんなにも街を壊す震災だったと思った。文章より震災の様子が詳しくわかりました。改めて震災の怖いなと思いました。このようなことにならないために普段から備えておきたいなと思いました。	資料などではわからないことを、実際に体験した人に話を聞けたので良かったです。特に、阪神淡路大震災の前後の写真を見比べて、ネットには載っていないようなたくさんさんの写真や、倒れそうな場面、避難所の人々など貴重な写真を見られたので良かったです。
地震があったときの街の様子や避難所ではどんな様子だったのかがとてもわかりやすかったです。もし自分が生きている間に大きい地震が起きたら、阪神淡路大震災で学んだことが活かされたいなと思いました。	実際に災害に現場にいて取材されていて嬉しいことは少なくどちらかというと悲しい事が多かったことについてわかりました。記者の人たちは、報道に直接関わる私達にとって大切なことを担ってくれていることを理解して情報と向き合いたいです。
地震で、電車の線路が折れていたり、火事になっている写真を見た時は、衝撃だったし、地震が怖いとは知っていたけど、もっと怖くなりました。	災害が起きたときの写真で同じ場所の写真があって災害が起きた直後とこの様子がわかりやすかったです。建物の倒壊の被害の大きさが想像を超えて驚きました。
実際の震災後の神戸の様子を見て震災が起こると街全体がこうなるのかと思った。まだ30年経っていないにも神戸があの状態から兵庫県を中心として来ているのはすごいなと思いました。	オンライン授業で実際に被災地に行った人の話を聞いて良かったです。行った人しか感じ取れないことも聞くことができました。改めて阪神淡路大震災のことで知れました。
人が話すことで伝わる恐怖とまた違う恐怖がありました。思っていた以上にすごいことになっていて驚きました。思わず目とまろ写真でした。	阪神淡路大震災の名前の所で、淡路島の被害をあまりきいた事がなかったので、何で淡路が入ってるのだろうと思っていたので、その理由が聞けてよかったですし、印象にも残っています。
震災後、人々は苦しみを乗り越え、団結し復興を今の街があるのだと思いました。	阪神淡路大震災の影響で倒れたビル、駅など、普段は見れない写真を見てこの地震の被害の大きさをしるすべくするためになりました。
このような大きな被害が広がる前に自分でもできることを探して行動したいと思いました。僕はまだ大きな災害を身近で感じたことはないけれど、自然の力には勝てないで家族と話し合い、対策をしていきたいと思います。	阪神淡路大震災以外の地震についてもしたので良かったです。地震自体も怖いけれど、感染症も怖いと思いました。
その時の雰囲気や、圧迫感などがとても感じられました。災害の状況や、仮設住宅の申込の写真などからは、みんな顔がやられていて、普段自分たちができていることができなくなるということは、とてもストレスがかかるんだと思い今こうして暮らせていることに感謝しています。	震災への備え方と、現状で起こった場合の対処法がよく分かりました。
平成の間にこんなにも沢山の災害が起こっていて、様々な災害の多い国で生きていく以上、たくさん対策していかなければならないと思います。それにコロナ禍で現在の状況に対して、いつもと違った避難生活を余儀なくされるので、そこからへんこのことをもっと深く考えていかなければ、と、思いました。	阪神淡路大震災のとき生まれていなかったけれど当時の神戸新聞社の方の声を聞かせていただいていたので震災の恐ろしさが写真などを見て発表のとき以上に深めることができました。
今まであまり見る機会がなかったけど、今回細いところまで見て、震災が起こったときの街の様子、どれだけ悲惨な状況だったのか、どのような形で復元されてきたのかが見て知ることができ、どれだけ恐ろしいものだったのかがよくわかりました。	今日のオンライン授業を受けて、短い間だったけれど写真や、文章、新聞を見て改めて地震の強さや、恐怖を知りました。最後の質問で一番つらかったことへの答えで、人が下敷きになっている中や、消防車の方々が助けに回っているのには自分は何もできない状況だったことを知ってどれだけ辛いことなんだろうと考えさせられました。私だったらそんな状況耐えられません。話す前も、普の事を思い出すとおっしゃっていて、今まで関西地方では地震は発生しないと書かれていた中で急にとても大きな地震が起こると話が真っ白になると思います。私達もこういっことを忘れずに暮らしていきたいと思いました。
震災での火災は、街一帯を覆って上空まで上がっていて、怖いです。車も土砂で埋まっています。家も一階は沈んでいてとても激しい震災だったことが伝わってきました。	阪神淡路大震災だけでなく、過去には沢山の災害が日本では起きていて、写真を見ることによって、どんな被害状況だったかよくわかりました。それによって、新聞記者が実際に被災地に行って、取材をした写真も撮っていることが、被災者ではない人に、現実を伝えるとても大切なものだとわかりました。
震災後の写真を見て家などが全壊していて恐ろしい地震だと思いました。南海トラフ巨大地震もくると予想されているので僕たちは一週間分くらいは食料を用意しておきたいと思います。	私は、実際に被災したことではないのでどの災害でどんな被害があったのかは知らなかったし検討もつかなかったけど、この授業を受けて、実際に体験した方の言葉、今のコロナの中ではどう行動が変わるのか、今私達にできることなどたくさんを知ることができました。今後、災害が起こる可能性は必ずあるので、今日得た知識を生かしていこうと思います。
とても大きな震災が起こったことが見て思いました。また被害もそれなりに多くて防災のことについて知ったり学校で行われる避難訓練や防災活動についてしっかり勉強したいです。	初めてオンライン授業をしたけど、緊張感がありました。あまりなれなかったけど、わかりやすくてよかったです。いい経験をしました。
大切なものを失ってしまった後にも苦しい生活が続いてたなんて考えもできません。そういった時こそ互いに支え合ったり協力したりすることで人の温かさを改めて感じれるのかなと思いました。もし、こういった震災などの災害がコロナ禍で起こるとなるとより一層怖いなと思いました。	阪神淡路大震災や、東日本大震災などの地震や、熊本地震などの最近の地震しか知らなかったけれど、今回の勉強で、たくさん地震があってそのたびに多くの人が苦しんで、悲しんで、やっと思いの生活に戻ったかな？と思っていたら他の場所でもまた自然災害が起きていてというふうに日本は大きな国だなと思いました。でも今回の勉強の最後へんに出てきたコロナが案外そうだが、人はそういう悪いことに臨機応変に対応して希望をいだける生き物だなと思いました。この勉強を通して南海トラフの地震への不安が少し高まりました。けれどもそれと同時に「生きる希望」のような物が見えた気がします。このオンライン授業を受けてよかったなと思いました。
兵庫の町がこんなにも荒れているのを見たことがありませんでした。実際に見て驚きました。今後起こる南海トラフ巨大地震につなげていきたいです。	コロナ禍でこのような大型地震が起こってしまったら、世の中は大混乱になってしまうと考えると本当に恐ろしいなと思いました。二度とこのようなことにならないために防災しておこうと思います。
映画などでしか見たことがないような建物の倒壊が多く、とても怖くなりました。自分の街がこうなる、怖いもそうだけど悲しくなるだろうなと思います。また、復興にも時間がかかるだろうし、震災は人だけでなく、その人の思いも壊してしまうんだと思います。	どんなに大きな被害だったのかをより知ることができてよかったです。また当時取材に行っって悲しかったという話も勉強になったので良かったです。
言葉だけでなくよくわからないことや伝わりにくいこともたくさんあったけど写真を見ただけで被害の規模や状況などを把握できました。神戸市全体に被害が広がって復興するにも時間がかかるし神戸に住んでいた人たちの苦労も写真を見るだけでわかりました。	阪神・淡路大震災の当時の状況について経験した人から話をきいてとても貴重な体験になりました。コロナ禍の中で避難所に持っていくものや生活の仕方をきいて非常袋の中を確認したり今からでもできることが見つかりました。
地震によって多くの建物が壊れていたり潰れていたりしているのを見て、震災が起きたときの防災や減災の対策をしっかりとっておきたいなと思いました。	実際に体験した人のあなしや、新聞記者としての記録など、とても心に残ったし、辛さがよく分かる写真などもあり、もしこんなことがあったら、と不安になりました。今では、たくさん災害を経験し、教訓にできることなどたくさん資料、写真があるので、それをしっかりと学び、これ以上あとに伝えていかなければならないことを把握し、知識としてだけでなく、行動に移して行きたいと思えます。
今の私達の生活とは全く異なっていて、そのときの様子が同じ神戸とは思えなかった。一番印象に残ったのは焼け野原になった神戸の写真です。あときの神戸から今の神戸になるまでたくさんの方が関わってきたんだろうなあと思いました。	実際にどんな震災があったのかや、震災が起こったときの気持ちなど普段の生活では聞けないような貴重な話が聞けて、良かったと思います。これからも震災についてのことを下の年齢の子に伝えたいなと思いました。
自分が想像していたよりひどい被害が出てびっくりした。今では考えられない写真や映像でそれでも今の神戸に戻した人達は、すごいなと思いました。これらの写真は現時点で生かされていなかった私達を含め、写真というもので真実を語る力となります。これらの資料を大切にしたいです。	実際に身近で震災を体験している人の話を聞いて自分がいざ震災があったときに自分の命を守るために役立たいと思いました。
僕が思っていた以上に悲惨な写真でした。写真を見てすぐに被害の大きさを知りました。自分がもしあの場にいたらと考えると怖くなりました。この写真を見て非常袋などを備えておこうという気持ちもさらに大きくなりました。	オンライン授業で現場を見た記者さんの心境やこれからの自分がどんなふうに住んでいっていいのかなどの取り組み姿勢の大切さや、現地の悲惨さを学びました。
地震の被害の凄さと復興のしんどさがよく伝わってきました。	新聞記者はたくさん情報を得なければならぬ。そしてその情報を伝えることで人々の役に立っている。だけどその反面、震災時にはカメラを向けることしかできない。その悔しさと、情報を聞けるという使命が心の中で葛藤していたんだろうなと思った。私達は今、阪神淡路大震災のときのことを知るのには今までの人たちが震災で学んだことや経験を語り継いできたからだと思うので、私も次の世代に繋いでいこうと思います。
震災当時の事がよく分かった。大変だったんだなと思った。震災から、神戸はすごく復旧したんだなと思った。苦しかったんだなと思った。阪神淡路大震災がどれだけ被害を与えたかよく分かった。次こんな災害が起きてもこんなことにならないように備えていこうと思った。	新聞記者から見た震災当時の風景と一般の人から見た震災の風景は少し違うような気がしました。悲しい風景をカメラに収めることは、かなりつらそうだなと思いました。また震災のときの新聞の大切さもわかりました。
この日本では、毎年のように大きな災害が起こっているんだなと資料をみて改めて思いました。コロナウイルスが広がっているなかで、避難所でももっと注意しなければいけないことが増えるのは、被災者の方々にとってはとてもストレスが溜まってしまうことなんだろうなと思いました。	実際に震災を経験した人の生の声が聞けて良かったです。兵庫は色んな災害があった事が分かりました。阪神淡路大震災がどれだけ悲惨だったかよく分かりました。今のコロナ対策の避難所の取り組みとか、ダンボールベッドというものを初めて知りました。新聞社から見た阪神淡路大震災の思いも分かりました。この授業をただ受けて終わりにするのではなく、色んな事を学んだのでこれからの生活に活かしていきたいです。

震災写真パネルを見た感想	神戸新聞社 三好さんの授業を受けた感想
とても頑丈そうな建物などが跡形もなく無くなっていて驚き、恐ろしかったです。これからは地震などは無くすことができない強い地震が来るかわからないので他人事ではなく自分にも関係があるものとして考え対策を取っていききたいと思います。	わかりやすく教えて下さり、被災地がどれだけ悲惨な状態だったのか、その場で取材をしカメラを持って写真を撮るときに取材者の方々がどんなにつらい状況だったかわかりました。
被害が大きいの今は復興しているのがすごいと思いました。街が焼けるのは、怖いと思いました。火事で死者が多かったのかと思いました。	自分は写真や映像で見ただけでわかった気になってたけど実際に体験した人の話を聞いて自分たちでは想像することもできないくらい悲しいことだと気付かれました。またオンライン授業の話にあった備えに限界はないといことを聞き今後家族で確認したいと思いました。
平成にはたかさんの大きな災害があることやそれだけでなくたかさんたちがたくさんいることがわかりました。災害の中でもほとんどが地震で、地震の影響で川が氾濫したり津波が起こったりして大きな被害につながっていくんだと改めて知りました。	阪神淡路大震災の時どんな被害があったのかわかりました。阪神大震災では淡路島も大きな被害にあったのが伝わらないから阪神淡路大震災というのがよくわかりました。実際に取材するのは、怖かったらと思います。
写真だけでも伝わってくる緊迫感や、周りの状況などがその場を支配してこちら側に伝わってくる感じがしました。自分がその場にいないわけじゃないから状況は、見て聞いた状況と自分の中の想像でしか無理だけど、写真1枚でその場一端を物語っているように感じました。	神戸新聞社の人々がすごく面白い人で話の内容もちょうど違かったけどすごくわかりやすく、今後の引き継いでいくのが大事だと教えてくださって納得できました。
私は自身の強さを体験したことがないで大きい地震が起きたら怖そうだなとは思いますがここまで恐怖感を持ってなくて、でも、地震を体験した人からいって地震が起きるということは恐怖ではないんだと思います。写真を見ただけでいろんな建物などが壊れていてそれほど自身の大きさが大きかったんだと思いました。今は新型コロナウイルスが流行しており、避難所では感染予防しながら避難所での生活を送らなければいけないんだと大変さが伝わります。私は地震に恐怖感を持って生活をしなければならぬと思います。地震は防げないけれど、いつ地震が来てもいいように対策をすることで一人でも多くの命を救うことができるので、感染予防もしっかりして新型コロナウイルスにもかからないようにしていなければならぬと改めて思いました。	少ない時間だったけど、平成で起きた災害や阪神淡路大震災の当時の心情や様子を本人に聞いてよかったです。私達がしていないといけない、一つ一つを学ぶ、それを継続して伝えていってほしいなと今日この話を聞いて強く思いました。もしこれからこのような大震災が起きたら、今日学んだ注意することを出して活かしたいと思います。
自分が思ったより被害が大きくて、この地震は本当にやばかったんだ、ということがわかりました。避難難ももちろん用意しておいたほうがいいと改めてわかりました。	当時の状況が分かる人も、今の状況等によって予想もつけられないのがコロナの活動範囲の広さを表しているように感じます。新聞記者にしかわからない難いことも伝えられない苦痛さ、辛さなどがよくわかりました。震災の状況でも写真も撮らずに復旧、救援に迎えていた、結果よりも沢山の人の命がなくなったかもしれないけど、写真は是非でも撮っておかなくていいかなと改めて思った。なにが最適なのかをこれだけの苦痛に耐えた人たちに学んでいくべきだと思います。
仮設住宅の申し込みの行列を見て、震災で住むところをなくしてしまった人が道を埋め尽くすくらいいて、写真にうつっているだけで全員ではないと思うけどあんなにたくさんの方がいるんだとおもいました。つぼは総会で震災のことを調べた時仮設住宅のことについて調べましたが、中が狭いとか気密性が悪かったかと思っていてあんなに大勢いたら文句はいえないなと思いました。でも今後改善に向けて頑張ってくれている人がいるんだなと思いました。	実際に地震が起きた現場にいた人に話を聞いて思ったことは、地震の被害だったり怖かったりです。私は経験したことがないけれど地震を経験したことがある人からの話というのはとても大切で、話を聞いて地震が起きても焦らず対応できるとし、冷静に判断ができると思います。話を聞いて思ったことは、写真を取らなければいけないという辛さです。写真はずっと取りたい。あの世代にも伝えていくために大事だとは思いますが、やっぱり写真を取るといことは地震に含まれたら腕が震えて手が震えるという思いもあると思うので、難しいなと思いました。私は話を聞いて地震が起きてもレディに焦らず判断して行動していきたいなと思いました。
まだ自分が生まれていないときに大きな地震があったのは知っていたけど震災後の住宅街の被害の規模をあまり見たことはなかったが震災展示パネルでリアルに被害の大きさを見ることができて、地震の怖さを改めて知ることができた。以前の大きな地震での改善点を考えようと思った。	このオンライン授業で、一番印象に残ったのは、時代は繰り返すということです。この言葉で防災に備えて、水や食料をしっかり準備しておく！と言う気持ちが、芽生えました。この授業は、とても身にしみたと、感じられた授業でした。ありがとうございます。
内容はとてもわかりやすくて丁寧だなと思いました。今回は、阪神淡路大震災について8年生は調べ、阪神淡路大震災、つまり・・・「地震」がこんなに恐ろしい事を今回の学習で感じました。パネルの画像（写真）はほとんどの被災者が大変だったことを伝えてくれている画像だと思います。阪神淡路大震災のようにとても大きな地震が起こったときは今回の学習を通してしっかりと学習していきたいと思っていきたいと日々生活できたら、いいですね。	今日防災調べ学習をしてわかったことは、阪神淡路大震災などでは多くの死者や負傷者がでてしまいましたが、震災は一時的な悲しみではなくその悲しみはずっといろんなかたちで残るんだということ、たとえ、その時は助かって暮らしたとしても震災の記憶やストレスなどで亡くなってしまったり、死ななくても生きる意味が分からなくなってしまうということ、僕たちがしないといけないこと、一人ひとりが震災がこんなにも多くの人を悲しませるとい意識をもって、こんなことにも二度とならないようにつとめることだとあらためておもいました。
今、災害が起こるとどう行動を取るのか、想像できません。	色々な自然災害を学ぶことができてもいい機会になりました。実際の体験を話してくださったり写真を見せてくださったので震災の姿が伝わってきました。過去の反省を活かして今後来るとされている南海トラフ地震の減災に繋がれたいと思います。
今までたかさんの災害が起きたことが改めてよくわかりました。写真でも噴火や津波の被害が大きかったのかよくわかってきました。1つ1つの災害にたかさんの死者や行方不明者が出てとても悲しくなりました。日頃から準備しておくことが大切なのだと改めて感じました。	現在、コロナの影響で地震が起きたら、どうすればいいのか詳しくたかさんの事を知りました。顔は今回写っていませんが、声だけで楽しくできてとても行くと私は嬉しかったです。よ「淡路」をなくして言う人がいるけれど、しっかりと「阪神淡路大震災」のようにしっかりとちゃんとした名前をもっと伝える人が沢山増えたいですね。今回の授業が行ってとても楽しかったです！
仮設住宅申込の行列を見て、震災で家を失ってしまい生活が困難に感じってしまった人の多さに驚いた。	自分は、新聞記者なんか、写真取るとかやんて思っていたけど、それが仕事だから、助けてあげなくても、助けてあげなくても、それなりの苦労をきたんだなと思いました。今の状態を知ってもらうために、危険な場所に行って、写真を取るの、すごいことなんだと思いました。自分たちの知らない時代とかに今の大人の人は、大変な思いをきたんだなと思いました。短い時間だったけど、とても貴重な時間だったと思います。
神戸での阪神淡路大震災で被害が大きくなり建物や高速道路などが破壊したり壊れても元の街に油そうという心という気持ちがとても素晴らしいと思いました。こう考えると震災という災害はとも恐ろしいことというの改めてよくわかったらいいことだと災害が起こってもいいように災害に備えておくというのがよくわかった。	オンライン授業を受けて、実際に新聞記者さんがどうして写真を撮っていたのかしるべよかったです。新聞記者さんの話を聞けることははじめてに無いと思うので話聞いてよかったです。知らなかったことも知ることができたので、これからの生活でできることは実践していきたいなと思いました。
平成で意外とまあ規模以上災害が起きているんだなと思いましたし、避難所もコロナ対策しないといけないのでとても対策するのが難しいなと思いました。	自然災害は災害による直接的な被害では終わらないというのがよくわかったと感じました。また、私も生まれていないのに今日初めて知った災害もたくさんあり、もっと関心を持って自分ごととして考えていかなければならぬなと思いました。震災に直面した人の生の声を聞くことができた様子や被害の大きさをより詳しく学ぶことができました。
コロナ禍の今避難所では3密を避けるなどの対策が取られていることがわかりました。その時その時で避難所運営の仕方を変えるのは本当に大変だとことを改めて感じました。	貴重な話をしてくださり、とても勉強になりました。震災の恐ろしさのことがしれたのも良かったけど、それに加えて写真撮って次の世代に伝えていく大切さも学びました。うと思と新聞記者という職業はとも素晴らしいことだと本当に尊敬します。このオンライン授業を受けて改めて震災の恐ろしさや防災の大切さを感じることができました。
展示されていたパネルを見て阪神淡路大震災についての写真は殆どがみったことなかったし仮設住宅や僕たちのあまり見なかったところのなかつたところのパネルを見て改めて大震災の恐ろしさであったり大きな被害をもたらしているところを見て、現在復興されていく本当にすごいなと思いました。まだまだ僕たちには知らなかった大震災があると思うのでしっかりと学習して更に知ってほしいなと思いますし今までの震災から学び僕たちに何が出来るかや減災のためにどう工夫するかなど自分でも日頃からできることはあると思うので対策などできたらいいなと思います。	今日の学習で、沢山の人が被災者が起こっており、それに沢山の人が亡くなったのだと思いました。このようなことを防ぐために僕らの世代が災害を知って減災に繋がらないと行けないんだなと思いました。
写真を見て実際自分は体験していないし、その現場を見たこともないけど悲しくなったり、やっぱり震災は怖いなと思いました。印象に残っているのは人が建物の下敷きになってしまっていて、その前に看板みたいなものが立っている写真です。きつと立てた人は下敷きになってしまった人を助けてほしいという思いで立てたのだと思うのですが、みんな被害にあっている人を助ける余裕がなかったのかと思いました。またそのような人がたくさんいると思います。次震災が起こった時にはそのような人を減らすために、起こったときのことを考え減災はなくてはならないと思いました。	学ぶことも多かったし、自分にできることについて考えることができました。災害について知ることでもできました。もつとこれからは僕たちにできることなどについて考えていきたいと思います。
地震が起きたらみんなが混乱していたので自分が思っている以上にたいへんだなと思いました。地震が起きたらみんなものが壊れていてそれを復興するのに多くの時間がかかるのでわなかと思いました。そしてとても怖いなと思いました。	今日のオンライン授業を受けて貴重な話を聞かせてもらってよかったなと思いました。いろんな震災についての話であつたり被害の規模などについてを知られて改めて自然災害の恐ろしさについて考えることができました。短い時間だったけどもしっかりと考えることができました。実際の体験談なども聞けたのでその話をもとに備えておくことの大切さであつたり深く考えていきそして、想定しての活動も必要だと思いました。
震災の被害が想像していたよりずっとひどいものなんだとわかりました。災害を起さないようにすることは現時点ではおそろしく不可能だと思うけど、災害が起こったとき出る被害は自分たちでも減らすことができるので被害を最小限にできるような対策をしたいです。	今回のオンライン授業で、実際に阪神、淡路大震災を経験した人の話を聞いて、改めて地震が起こったときの大変さや辛さ、悲しさがよくわかりました。また、その後の生活や救済に備えず亡くなってしまう人がいることを知りました。そんな人達を取材しなければいけないのは辛い悲しいだろうけど、それでも情報伝えるなければ、という思いがあつたのかと思いました。私達は震災を体験していないのでできと起こったときには想像していた以上にことごとくパニックになってしまうのではないかなと思います。だからこそ、こういう経験を通して安全に正しく行動できるようにし、これからは驚いていかなければならないなと思います。
いつもならにぎわっているだろう場所も、色々な物が道路に広がって人影もなくここに人がいるのかって思うくらいひどい地震だったとわかりました。	私が生まれる前にたかさんの地震などの災害が起きていることを知り驚きました。代表の人たちが質問したことでより詳しく知れてよかったです。阪神淡路大震災を実際に経験した方から詳しくいろいろなお話聞けてとても貴重な体験だったなと思います。このオンライン授業で地震の恐ろしさや地震のときに気をつけなければならないことが色々わかったので今後の生活に生かしていきたいです。
私は実際に地震を体験していないから大まかなことしか知らなかったけど、張り紙で人がいることを伝えたり、実際に現地にて地震を体験した人にしか取れないような写真とかもあって驚きました。仮設住宅に住むにも、申込みなどをしなければいけないと初めて知りました。地震が起きたときはみんな混乱して一斉に避難したりするから、大変だと思いました。	阪神淡路大震災の被害がどれほど大きなものだったのかということが画像を通じてより一層伝わってきました。新聞社の方は災害があつても新聞を作るために取材をしてとても大変な思いをされているんだと感じました。もし、自分が災害にあつたら、調べ学習や今回のことを思い出して、自分の命を守るようにしたいなと思います。

震災写真パネルを見た感想	神戸新聞社 三好さんの授業を受けた感想
<p>写真を見ただけでも臨場感をすごく感じました。今まで見たことのある震災の写真のたいは家は壊れた様子や高層ビルが倒れている様子でしたが、あのパネルの写真は人の様子が多く写っていました。その写真の中でも、一人ひとりの様々な感情を捉えていることが出来ました。その中で印象に残ったのは、何かをもらってすごく笑顔な女性の写真と人がキョウキョウになっている避難所の写真です。やっぱりごはんが毎日3食たべられることが、どれだけありがたいことか。つまり眠れるのがどれだけ幸せなことか改めて気づくことができました。</p>	<p>地震を実際に体験された方の話をきけることがとても貴重なことだからこういう機会をもらえてありがたいと感じました。それと、コロナ禍での避難のことは、今までだったら絶対聞けてないことだし、地震が起こったときに注意できるので参考になりました。</p>
<p>震災はいつ起きるかわからなくしかも、多く起きています。その震災の中で、多くの人が犠牲になっていることがわかりました。この犠牲者の数を考えて、この中に自分がいると考えるとゾッとしました。自分の生まれた場所である兵庫でもたくさんの地震が起きている。このことを風化させずに、自分から伝えていきたいです。この震災の中には、地震が原因で亡くなった方もいると思いますが、それ以外で亡くなった人もいます。なので地震は止められなくとも減災、防災に取り組もうと思いました。</p>	<p>今回阪神・淡路大震災の実体験を聞けてよかったと思います。大きな地震は起きてほしくないけど、「歴史は繰り返される」なら、準備をしっかりしておきたいと思いました。パネルを見たり、話を聞いたりして、地震が起きたあとの対応や復興がとても大変だったとわかりました。今回得た知識をこれから活かしていきたいと思いました。</p>
<p>平成に発生した主な災害の中には地震だけではなく、長崎にある雲仙普賢岳や伊豆諸島にある三宅島などの火山の噴火、平成18年豪雪、平成16年や平成23年などに起きた多大なる被害をもたらした台風、鹿児島・奄美豪雨などといった様々な災害と共に歩んできたことがわかりました。</p>	<p>すごく短い時間でしたが貴重なお話を聞くことができました。やっぱり今こんな状況なので災害が起こったときに被害が少しでもおさえられるよう、備えと訓練が大切だなと思いました。</p>
<p>災害は怖いんです。</p>	<p>今日のオンライン授業を受けてみて、震災を間近で経験しそこを取材した人に話を聞けてよかったと思います。今この時期の避難所での対策法なども参考にになりました。来てくださった方も言っていました、その人は自叙に起きたときに後悔したと言っていたので僕は後悔しないようにこの貴重な経験を生かしていきたいと思っています。</p>
<p>今の私には考えられないような大きな被害でした。たくさんの建物が倒壊し、たくさんの人々が亡くなってしまったんだと改めて思いました。今は復興作業で、元通りに戻りつつありますが地震が起きた直後はなんにも悲惨な状態だったんだと思いました。</p>	<p>日本にはこれまでもたくさんの自然災害があって、自然災害はこれからもたくさん発生するのだらうと思います。それと同時に、様々な災害から学べることもたくさんあるのではないかと思います。このように、「災害は繰り返す」。けれども、「1つ1つの災害から学ぶ」「1つ1つの災害から学ぶ」「継続して伝える」などといったことがこれからも必要になってくるのだらうなと思いました。また「備え」にゴールはないという言葉もすごく印象的でした。</p>
<p>被害の大きさを実感しました。大人になったら、できるだけ被災地に行ってボランティアなどの協力をしたいと思えます。今でもできることをしていきたいです。</p>	<p>様々な災害からの教訓を活かし、つなげていくことが必要なんだと思いました。これからの災害の被害を減らせるよう私達ももっと災害について知り、その教訓を活かせるようにならなければならぬんだとわかりました。たくさんのそういった災害の経験の知恵を身に蓄け、いつどこで起きてても正しい行動が取れるようになりたいと思いました。</p>
<p>被害の大きさを実感した。今でもできることをしていきたいと思えます。</p>	<p>大地震の実際の話を聞けて良かったです。そして恐怖を想像したり、記者の意欲の強さや情熱を共有したいという信念も感じられました。家でも南海トラフに備えておきたいです。いつ起こるかわからないので一日一日を大切に生きていきます。</p>
<p>雨れている建物や燃えている街が、さっき普通にいつものように過ごしていた街だったと思うと信じられないし受け入れたくないと思ってしまう。</p>	<p>震災の時の状況や新聞記者さんたちの助けに助けられないという悲しい出来事を詳しく教えてくださったので震災や自然災害の怖さやあったときにどうすればいいかわかたしこれからはどうすればいいかも考えたいと思いました。</p>
<p>何度も見ているうちに、震災の壊滅さや今まで遠くに感じていたことが身近なこととして考えられるようになった。自分の家の家具の固定や、非常食を置いておくなどして地震があったときに対応できるようにしておかなければならないと思った。</p>	<p>実際に震災を経験したからこそ伝えられることがあるんだと思いました。実際、母も震災を経験していますが、母から聞いた話とはまた違う内容を知りました。短い時間だったけど、今自分に何ができるかを考えられた時間になりました。</p>
<p>たくさんの建物が壊れているのを見て、とても悲しい気持ちになりました。「もう地震なんて起きなければいいのに」などとも思いました。自分たちに今後何が起きるか考えさせられるパネルや写真でした。この震災を見て多くのことを経験し、学んだことがありました。それを活かし、このような悲惨な人々を作らないようにしていきたいなと思いました。</p>	<p>今日は三好さんから地震のことについて説明してくれました。実際に経験した人の話を聞くと当時の状況であったり、その地震から学んだことを生かした建物であったり教えていただきました。いつ来るかわからない地震だからこそ私達にできることを一生懸命することの命を救うための一番の近道なのだと聞いて思いました。自分の身を守るためにできることをしっかりとしていきたいと思いました。</p>
<p>私が知らなかった災害がたくさん載っていてそれを見るたびに私達が今後どうしていかなければならないかを考えさせられるな思いました。自然災害はいつ、どこで起こるか誰にもわからないし、家族などで避難所や集合場所を話し合っておかないとたくさんの死者や行方不明者が出てくるのだと思いました。いつ来るかわからない相手だからこそできる備えを徹底してやらないといけないと思いました。一人一人が災害に対する意識をたく持ち、死者を出さないようにしていかなければならないと思えました。これから大きな地震がくることを懸念されているので、食料や避難所の確認、避難経路の確認、他にも気持ちの面でもその地震に向けて準備をしておこうと思いました。</p>	<p>約30年の間にこんなに様々な、そしてたくさんの災害が起きていることを知り、驚きと恐れを感ぜませんでした。今まで私は、災害を知った気になっていたが、今回のオンライン授業を通して自分もこんなに災害に対しては無知であつたと実感しました。実際に震災を体験し、数々の災害を取材し、震災、災害についてよく理解した方だからこそ、このような語り継ぎができるのだと感じ、自分も又、そのような人間になりたいと考えました。</p>
<p>災害によってもたらされる被害が、どれだけ悲惨なものなのか理解でき、又自身の地域で過去に起こったような規模の災害が起こると、どのような被害が出るのか想像できた。災害発生時に被害を少しでも少なくできるように、家族、友達や知人を助ける、のではなくまずは、自身の身を守って対応していきたいと考えた。</p>	<p>みよさんが言っていた近畿地方では大きな地震は起きないと思っていたけどただそれだけの偏見で準備を地震対策などをしていなく後悔したという言葉をとても心に残りました。確かに近畿地方では地震があまりないけど次は、南海トラフが来ると言われているのでそれに備えて家族で集合場所の確認をしたり、防災グッズを揃えておこうと思いました。</p>
<p>日本は自然災害がとても多いですが、一個一個の自然災害がとても大きく命を落とす可能性の高いものばかりでした。起こってほしくない自然災害ですが、誰にもとめることができないのでそのときは自助、共助、公助を意識し防災グッズなどを備え、自分たちの家族の無事が確認できたら他の人のサポートができたらなと思えます。</p>	<p>印象に残っているのは阪神・淡路大震災という正式な名称のところで淡路でも死者がたつたところをとても強調していたことです。阪神大震災って省略されがちだけど、淡路でも死者がたつたことを忘れずに歴史を繰り返さないようにしていきたいと考えました。</p>
<p>地震については知っていることが多いのですが、噴火等の火砕流による被害や豪雪、豪雨による被害も多いことばかりでした。僕は兵庫県民で阪神淡路大震災があったから、地震について知る機会がある一方で、このような地震以外の災害について知る機会があまりないので、良い勉強になったと思います。これからは地震も含めて「災害」について知ることが必要なんだと考えました。</p>	<p>三好さんが当時どんなことを思いながら取材を行っていたかとか、実際、神戸がどの様な状況だったのかとか、私が知らなかったこともたくさんあったけどお話を聞いて詳しく知ることができました。</p>
<p>こんなにもたくさんのビルや電柱が倒れていてとてもびっくりしました。</p>	<p>震災前の普通の街が、一瞬にしてあんな風に崩れていくと思うととても怖いなと思えます。これからは大きな地震が起きててもこれまでのような被害を少しでも減らしていけるように、自分から行動していきたいです。</p>
<p>今、多くの家やビルが立ち並んでいるところは思えない状況で、心が痛くなった。</p>	<p>詳しく、わかりやすい説明と、画像などで楽しくできました。新たに知った事もあったし、記者の人の思いを聞いて良かったです。</p>
<p>当時の状況をよく知れた。</p>	<p>阪神淡路大震災のことについていろいろ考えることができました。三好さんの話を聞いてこの震災の出来事を次の世代へとつないでいくことの大切さや辛さなどをよく知れました。</p>
<p>大きな震災の被害を私は受けたことなかったけど想像もできなかったけれど、今回の授業などでどれ程のものなのか分かったし、今後のことでも考えさせられた授業だと思いました。自分たちの身を守るためには自身のことを知らないといけないと思うので今回の学習についてのことは忘れないでおこうと思いました。</p>	<p>震災は地震だけが大きな災害じゃないんだなと思いました。地震以外にも台風、あまり今はないけど火山の噴火などのたくさんの災害が世界中にはあるんだなと思いました。佐用町で起きた河川などが氾濫したとき後は小さかったけれど実際に佐用町に行っていたのも少し怖くなりました。これからは災害に備えていきたいと思いました。</p>
<p>自分が産まれる前に起こった災害や、自分が生まれてからも知らない災害がたくさん起っているんだな思いました。やっぱり震災と言われると地震のことしかあまり知らないけど地震以外にも火山の噴火の以外もたくさん残っているんだな思いました。火山の噴火は火山灰や噴石物なども降ってくるので噴火が起こった際は大変だったんだらうと思えました。台風などは亡くなる人がたくさんいたということはみんなが知ってかないといけないことだし、次はどう生かしていくかが大切になってくるな思いました。</p>	<p>三好さんの話を聞いて僕たちがDVDで見たのとは比にならないくらいのことを経験してその場の景色とかなど見ていた人が、「反省した」と言っていてびっくりしました。たくさんの家が壊れて、そういう事実があったからだとおもいます。今後大きな被害がないようにしていきたいです。</p>
<p>自分たちが生まれてきていない時に地震でビルや高層道路が壊れ、家が大火災になったりしているとは知らなかったです。</p>	<p>オンライン授業をする前は、神戸がどのようになったのか知らなかつけど実際の写真がみられて詳しくわかりました。さらに、新聞記者の思いも知れて良かったです。</p>

震災写真パネルを見た感想	神戸新聞社 三好さんの授業を受けた感想
<p>避難所でもたくさんのウイルスがあって拡大しやすい状況になるとは知りませんでした。今のコロナ禍で余計に拡大が広まっているのに防ぐのは難しそうだと感じました。また、避難所で三密を防ぐためにソーシャルディスタンスをとっているから人数もそんなに多く入れないと思うので辛いと感じました。</p>	<p>三好さんの話を聞いて感じたことは、現場そのものの状況がわかりやすいように話してくれて嬉しかったです。記者の方にしかわからない事も教えてくれました。自分は写真しか取れないという僕も涙が出ると思います。</p>
<p>たくさんの被害があり、消防団員や新聞記者までも負傷者や不明者、死者が出ているので本当に恐ろしいものだと感じました。阪神淡路大震災では、行方不明者が3人も出ているのに身近なところでも起こっているのていつ地震がおこってもおかしくないんだと改めて感じました。</p>	<p>短い時間だったけど災害時の状況や取材をしているときの気持ちなどをより詳しく丁寧に教えてくださったので本当にわかりやすく良い学習ができました。これからいつ災害が起こるかわからないので対策していきたいと思いました。</p>
<p>震災の被害については調べていたけど実際の写真見たことがなかったので被害がひどかったことがわかりました。</p>	<p>もし震災がおきて避難所生活になったときの気をつけることが知れたし、今までの経験や震災の様子を知ることができたので良かったです。これからは、いつ災害が起きても対応できるように日頃の生活を見直していきたいです。</p>
<p>日本は自然災害が多い国なので、一人一人が自助共助公助の意味を理解しなければいけないんだと思いました。自然災害はいつでもなるかわかりません。なのでそのぶん素早く移動できるか、どこに行けばいいのかなどの正しい判断力が必要です。だから日頃からいつ何が起ってもいいように準備しておくこと、学校で行われる避難訓練をふざけたりせずに本当に起こったと想定して手を抜いてやらないようにすることが大切で減災の一歩になると感じました。</p>	<p>実際震災を体験した人のありがたいお話を聞かせていただくのは貴重なことだと思うので感謝したいと思いました。家の下敷きになってしまっている人や、燃えて亡くなってしまった人を近くで見えたのはすごく怖かったと思うし、今でも忘れられないくらいトラウマになっていると思います。でもその教訓をつなげていくために私達に話をしてくれてとても勉強になることができました。ありがとうございました！！</p>
<p>地震はいろいろな建物を壊すのが恐ろしいとおもった。あらためて、地震はいつどこで起きるのがわからないので、地震対策が大事ということがわかった。</p>	<p>災害が恐ろしいとあらためて思った。</p>
<p>写真を見たときは想像よりもひどい状況だと思いました。そして、今まで見たことのない写真がたくさんありました。地震の被害について知らないことがまだたくさんあると感じました。写真を見て地震はどれほど危険なのか改めて知ることができました。</p>	<p>まず、平成の災害について聞いたときは知らないことも少しありました。そして、死者・行方不明者の数がどれも多かったことには驚きました。そして、阪神・淡路大震災の写真も始めて見たものがたくさんありました。柏井ビルが倒れそうになっている・倒れている写真は揺れが大きかったことが伝わってきました。今日はいろいろなことを知ることができてよかったです。ありがとうございました。</p>
<p>26年ほど前に、阪神淡路大震災が起こり、建物の倒壊や火災などで命を落としてしまった方がたくさんおられたことは知っていました。しかし、地震による被害の規模が想像していた被害の倍以上の規模だったので、とてもびっくりしました。他の地震も二次災害の被害があることがわかり、地震の揺れで命を守れても、津波などの危険性があるので、油断できないと思ったり、怖いと思いました。災害の影響で、辺りがガランとしているのを見ると、震災の怖い、でも災害が起こったときにしっかり対応したいという気持ちが生まれました。</p>	<p>ほんの何年かでたくさんの災害が起こっていて、多くの被害があったことを知りました。九州での災害については、少し知っていましたが、兵庫県でもたくさんの災害が起こっていて、とても驚きました。みよしさんと同じく、わたしも近畿地方での災害は少ないと思っていました。しかし、近畿地方でも災害はいつ起こってもおかしくないの、しっかり備えることが大切だとわかりました。また、コロナウイルスの予防も大切だと思いました。</p>
<p>本当にこんな事起きてたんだと言う驚きがあった。今後起きるであろう災害を、少しでも被害を軽くできるように防災や減災の意識を持つと思った。</p>	<p>ビルが倒れている写真は衝撃的だった。自分たちが住んでいる地域も安全ではないと実感した。自分もいつ起きるかかわからない自然災害に備えて生活していきたい。</p>